

# 完走目指し1351人集結



大会に向けて全国から集まった出場者  
＝コンフォモール内灘

17日は午前8時から開会式が行われた後、同8時半に同所をスタートし、初日のゴールとなる輪島市マリントアウンを目指す。

クリニックは大会にも参加するアテネ五輪ロードレース日本代表の唐見実世子さんと競輪の林次郎選手、カッリースサイクルの成田加津利代表が講師を務めた。唐見さんと林選手が正しいブレーキングやハンドルさばきなどを実演し、参加者がプロの技を学んだ。

今大会は36都道府県と台湾から選手がエントリー。会場には自転車積み込んだ真外ナバーの車が次々と到着し、出場者が愛車を組み立てて本番に備えた。兵庫県宝塚市から初めて大会に参加する主婦福田浩子さん（46）は「唐見さんのアドバイスを忘れず能登を楽しみたい」と話した。

## クリニックで準備万端

第23回「ツール・ド・のと400」能登半島一周サブイバル・サイクル2011」（同実行委、県自転車競技連盟、北國新聞社主催）の出走受け付けは16日、発着点の内灘町のコンフォモール内灘で始まった。約410キロを走破する3日間に向け、希望者を対象にクリニックも開かれ、1351人が17日の号砲を心待ちにした。

きよらツール・ド・のと開幕